

令和3年度
「新しい学校推進 意見交換会」資料

【世知原小学校】【世知原中学校】

佐世保市教育委員会
新しい学校推進室

1

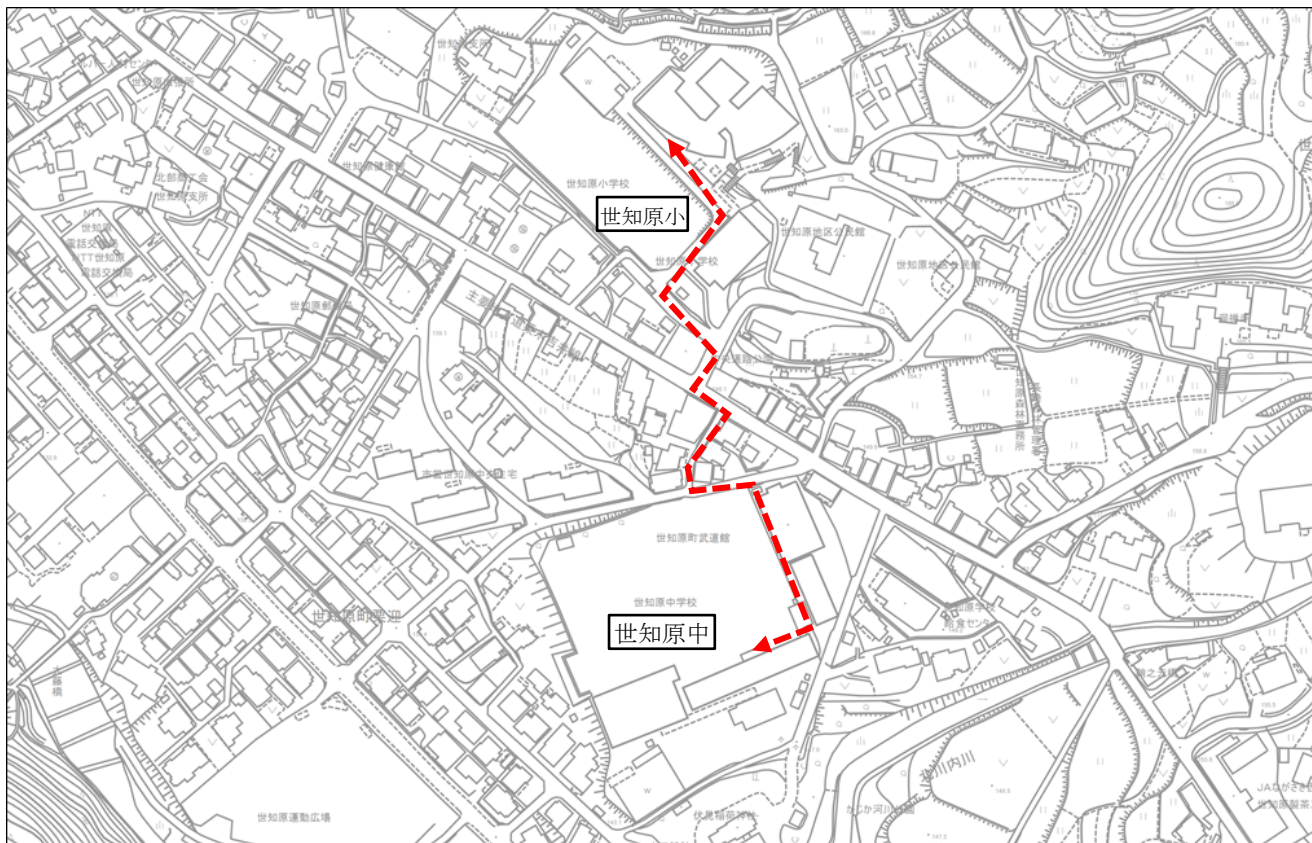
世知原小学校区・世知原中学校区 現在の通学区域（校区）図



2

世知原小学校・世知原中学校 近隣地図

※両校の校舎間の道のりは、約400m。徒歩5～7分



3

各学校の現状 及び 児童生徒数の将来推計

① 現状（令和元年5月1日現在）

小・中学校	世知原小	世知原中
児童数（令和元年5月1日現在）	142人	114人
学級数（特別支援含む）	6(7)学級	4(6)学級
建築年数	11年	43年
校舎延床面積（施設台帳より）	3,322 m ²	3,062 m ²
運動場面積	約 6,500 m ²	約 8,100 m ²
敷地面積	約 9,200 m ²	約 11,500 m ²
地区自治協議会区域	世知原	世知原

※敷地面積には山林や法面（人工的な斜面）を含めておりません。

② 世知原小学校・世知原中学校の児童・生徒数の推移

再編しない場合		
学校名	令和元年 （5月1日現在）	20年後 （2040年推計値）
世知原小学校	142名	約80名
世知原中学校	114名	約40名

再編した場合		
学校名	令和元年 （5月1日現在）	約20年後 （2040年推計値）
世知原義務教育学校	256名	約120名

4

学校再編案について

目的	☆9年間を見通した小中一貫教育の導入によって、両校が小規模校であることのメリットを生かしつつ、さらに児童生徒の個性や能力を伸ばす教育の充実を図ること
再編案	◎世知原小と世知原中を統合し、両校の施設を活用する施設分離型の義務教育学校とします。 【理由】 両校とも小規模校であるため、同校種との統合により望ましい学校規模を目指すのですが、近隣校が遠く、児童生徒の負担が大きいのと思われます。そこで、両校を施設分離型の義務教育学校とすることで、学校全体として一定の集団規模を確保しつつ、児童生徒の個性や能力を育成したいと考えます。 また、施設分離型とする理由は、敷地面積では世知原中の方が広く、統合場所として適していると考える一方で、世知原小の校舎は建築年数が新しく、建築予定の小学校体育館と合わせて、今後も有効活用したいと考えたためです。
期待できる教育効果	○義務教育学校という一つの学校組織となることで、9年間を見通した特色ある教育活動を、緊密に連携しながら行うことができます。 （※ 2校の運動場と体育館は、引き続き利用できます。）
留意点	○小中一貫教育を導入しても、一学年あたりの小規模化という課題が残ります。 ○施設一体型の小中一貫校に比べると、授業や行事等で、移動時間が必要となる場合があります。

- 小中一貫教育の導入及び、学校規模対策のため、「世知原小と世知原中を義務教育学校（施設分離型）へ統合」することについて。